

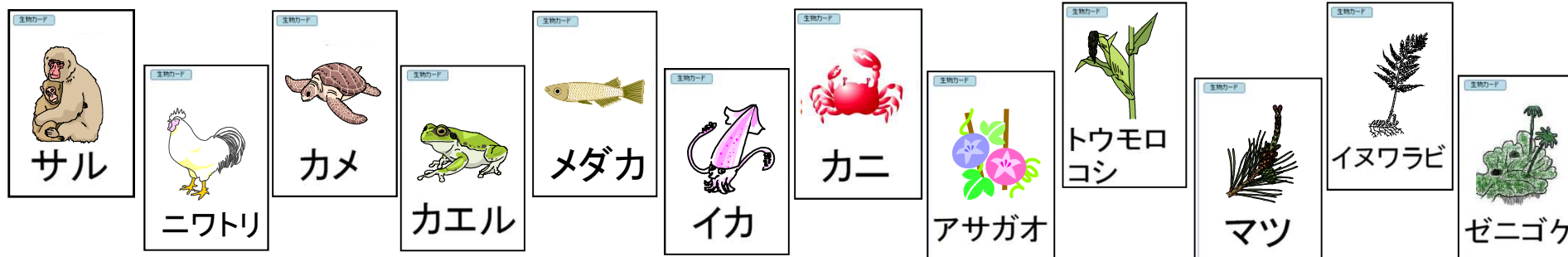
## <アイデア>

第1学年「(1)いろいろな生物とその共通点(イ)生物の体の共通点と相違点」

生物の分類に関する知識を活用しながら、生物名を当てるゲームを行うことで、情報収集して考察する力を育成するためのアイデア

## <学習課題>

# カードにかかれた生物は何だろうか。



## <授業展開のイメージ>

### 学習意欲を喚起するゲーム



### 一人一役(探偵役, 生物役, 審判役)によるトリオ活動

※探偵役と生物役のペア活動も可能



### 生物の分類に関する知識を活用しながら推論



### 役割を交代して繰り返し活動



### 情報を収集して考察する力の育成



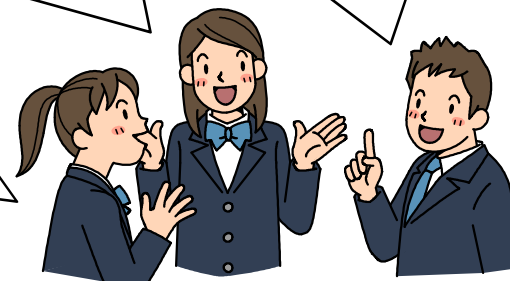
生物の分類の知識を活用して、生物当てゲームに挑戦しましょう。

トリオになって探偵役, 生物役, 審判役を決めてください。ルールは…。

探偵役か生物役のどちらかが間違っているとアウトね。

そのときは、審判役が判定するんだね。

面白そう。  
当てるぞ！



## 生物当てゲームのルール

## ①探偵役、生物役、審判役を決める。

＜探偵役＞ ・「はい」、「いいえ」で答えられるような質問しかできない。

・生物名を含む質問をしてはいけない。

＜生物役＞ ・「はい」、「いいえ」しか発言できない。

＜審判役＞ ・どちらかに間違いがないか判定する。



ぼくが探偵役だ。  
「どこで呼吸しますか。」  
「あなたはアサガオですか。」  
のような質問はダメか…。

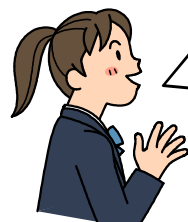


私は生物役ね。  
「はい」、「いいえ」  
しか言えないのね。

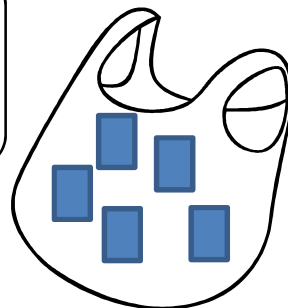


私は審判ね。

## ②審判役はカードをシャッフルして袋に入れる。生物役は袋からカードを1枚引く。何を引いたのか審判役も確認する。



カードを1枚  
選んでくだ  
さい。

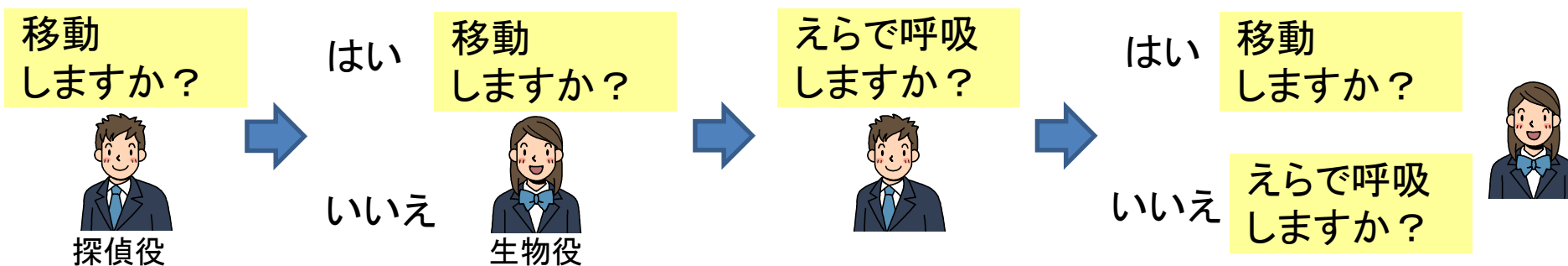


ふ～ん。  
〇〇か。

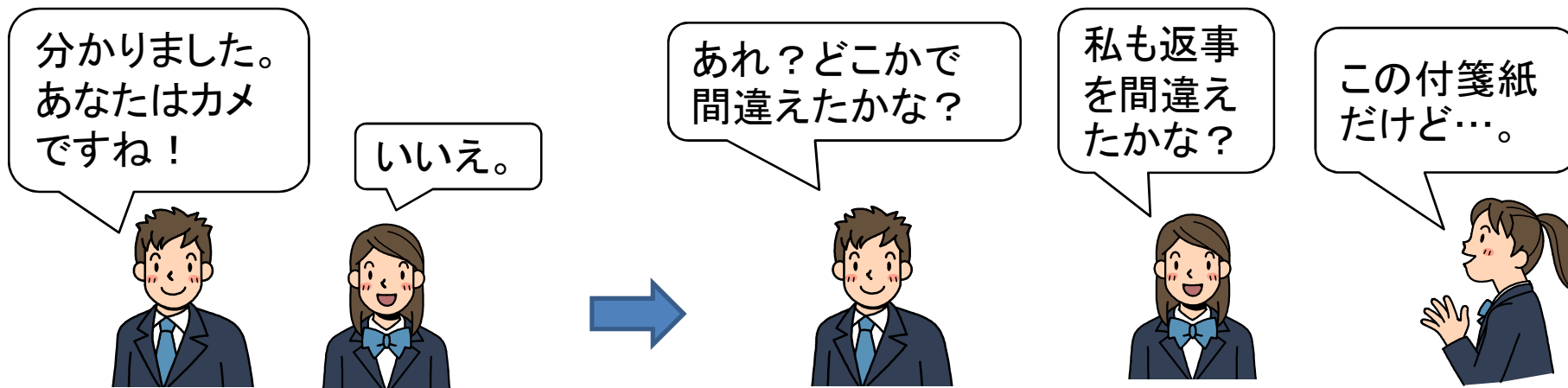


生物当てゲームのルール

- ③探偵役は「はい」、「いいえ」で答えられる質問を付箋紙に書いて生物役に渡す。  
 生物役は選んだ生物の特徴を踏まえ、付箋紙を「はい」または「いいえ」の位置に置く。  
 探偵役が生物名を推論するまでこのことを繰り返す。



- ④探偵役は生物名が分かったら「分かりました」と宣言し、生物役に生物名を告げる。  
 当たりなら役割を交代して続ける。間違いならどちらがどこで間違えたか付箋紙を  
 基に審判役が指摘する。

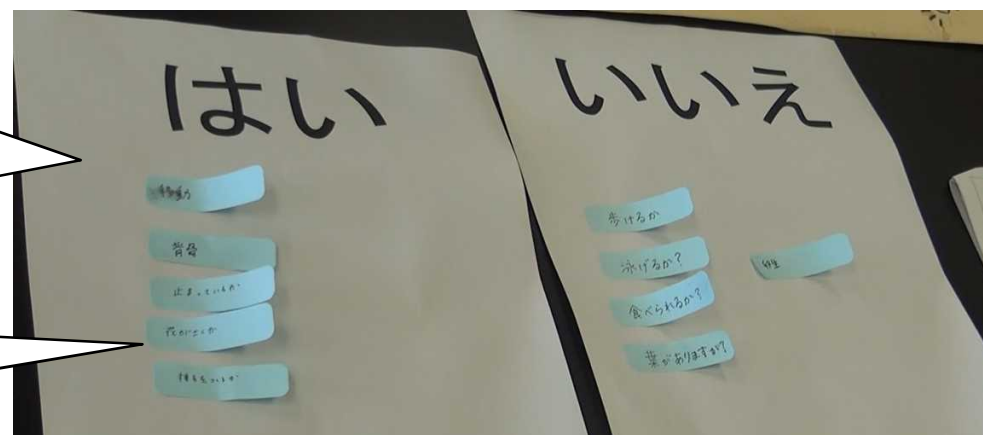


### 【研修講座でアイデアを体験している様子】



う～ん、何かおかしい。  
審判、おかしいと思います。  
(探偵役)

実は〇〇という質問に対して生物役  
が△△と回答しましたが…。(審判)



役割分担して体験。わざと間違えてみて、  
生徒がどのように感じるのかということも体験。

## アイディアの有効性

<受講者9名の感想を類型化>

### 3人で取り組むことよさに関する感想（6名）

感想例

【アイディアを体験しての感想やアイディアの改善に向けての意見を御記入ください】

これまでの学びを生かしてアイディアだと思った。また、1人ではなく3人で行うことで正しいかどうか判断もでき妥当性が高まると感じた。

### 生物の分類の知識を活用できるよさに関する感想（3名）

感想例

【アイディアを体験しての感想やアイディアの改善に向けての意見を御記入ください】

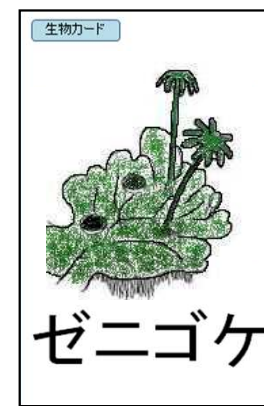
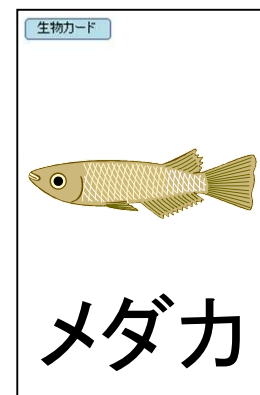
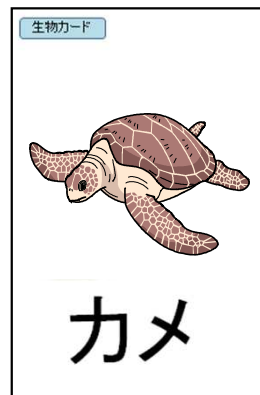
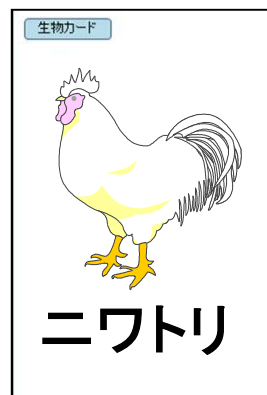
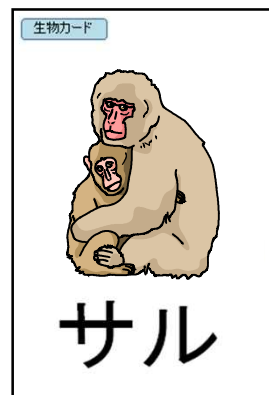
すごく楽しく取り組むことができた。どこか1つ質問の答え（生物位）が間違っているとかなかなか正解になどつげず、間違えとしまいが、そこから改めて知識を確認して学び合うことにもつながるのがすごく良いなと思った。

<受講者の5段階評価の平均>



4.89

## カードの例



## &lt;このアイディアのポイント&gt;

- ・一人一役で学習に取り組むことができる。
- ・どの役であっても生物の分類に関する知識を活用しながら思考することができる。
- ・付箋紙を使うことで思考過程が見える化できる。